

JAPAN & OCCITANIE

試合の奥義
それは友情

プレス資料



ラグビーワールドカップ2023
1Year To Go
オクシタニー地域圏

2022年9月



ご挨拶

“ オクシタニー地域圏は、観光と経済、更には文化、教育と研究、そしてもちろんスポーツといった分野において日本との強い絆を共有しており、私はこれらの分野における多くの国際ミッションを通して、その関係強化を常に望んでおりました。

スポーツ担当副議長のカメル・シブリと共に、ワールドカップ前大会が開催された2019年に東京で日本の関係各位とお会いして以来、2023年のラグビーワールドカップフランス大会では、是非ラグビーの大地たるオクシタニーを日本チームの拠点として頂くよう、勧誘を重ねてまいりました。

こうした活動が実を結び、日本代表チームがオクシタニーをベースキャンプ地を選んでくださったことは大変名誉なことであり、当地の優れたスポーツインフラや魅力あふれる土地柄も改めて世に知られることとなりました。

ワールドカップは、日本代表とそのサポーターの皆様にとって、オクシタニーの豊かさ、つまりライフスタイルから息をのむような景観まで、また当地の偉大なシェフの手による南仏の郷土料理や地元が誇る美酒に至るまで、そのすべてに触れていただく素晴らしい機会となることでしょう。オクシタニーの様々な伝統工芸、ライヨール(Laguiole)のナイフやマルトル・トロザーヌ(Martres-Tolosane)の陶器、名高いアンデューズ(Anduze)の壺型植木鉢、16世紀のニーム(Nîmes)で生れた伝説の布地デニムのジーンズなどにもぜひ出会っていただきたいと思います。

私たちはラグビーワールドカップ2023を機にオクシタニーを訪れる皆さんを歓迎し、このイベントを全ての人の祭典として大成功させる準備ができています！ ”

オクシタニー／ピレネー・メディテラネ地域圏
議長 キャロル・デルガ



“ オクシタニーでスポーツとは、初心者からトップアスリートに至るまで、まさに地域全体を活性化するひとつのカルチャーとして捉えられています。とりわけオクシタニーで愛好されているのはラグビーです。この地ではラグビーが日曜日ごとにあらゆる年代の人々をひとつにし、この地のキーとなる価値観の全てを具現しています。ラグビーにはチーム精神や自己の限界突破という意義がありますが、さらには連帯や仲間との楽しいひと時、集いといった意義もあります。日本代表チームやそのサポーターの皆さんにとって、2023年はラグビーに情熱を燃やし、日本とも日々関わり合いながら動いているオクシタニー地方を知る年となることでしょう。この世界的なラグビーの祭典に日本の皆さんをお迎えできることを誇りに思います。 ”

オクシタニー／ピレネー・メディテラネ地域圏
スポーツ担当副議長 カメル・シブリ



1. オクシタニーと日本：強固な絆と多彩な共同事業

オクシタニーと日本は組織として強い連携を保ち、多くの共通点があります。気骨ある土地柄、千年にわたる歴史、類まれな多様性を持ち、非常に多くの芸術家を生み出してきた文化などです。

またオクシタニーと日本は独自のライフスタイルを培って来た地でもあり、非常に高レベルの食、スポーツの実践、そして環境保全のための共通の取り組みでも共によく知られています。

そしてどちらも、優れた教育を施す大学のおかげで、未来に向けた持続可能な経済を象徴する地となっています。両者の相互補完関係と経済交流は、とりわけ航空産業、自動車産業、観光において盛んであり、オクシタニーに進出している日本企業は27社、その創出する雇用は4000人にのぼります。

協力関係の一例

- 自治体間の提携が2件。2015年に京都府、2018年に愛知県と。
- オクシタニー地域圏の訪日ミッションが5件、うち2016年、2018年、2019年の3件はキャロル・デルガ議長が率いるミッション。
- 航空宇宙産業の展示商談会「エアロマート Aeromart」を名古屋市とトゥールーズ市が交代で毎年開催。
- 2019年、東京・トゥールーズ間に初の特別チャーター便
- 2019年京都のヴィラ九条山と文化提携に調印。京都とオクシタニー双方の芸術家に相互に住居提供。
- サンティアゴ・デ・コンポステラへの巡礼路と熊野古道の共同事業：絵画展「二つの巡礼路コンポステラと熊野、ある画家の視点」を2023年に世界遺産の熊野本宮大社で。
- 日本とオクシタニーの大学間で50近い学術分野の協定。例：ペルピニャン大学と中部大学、アレス鉱山大学（IMT Mines d'Alès）と慶應義塾大学など。
- 日本のスタートアップ企業ALE（宇宙分野）がオクシタニー地域圏の支援を受けて2020年1月トゥールーズに進出。

オクシタニーの地理



南ヨーロッパの中心に位置するオクシタニーはフランスで2番目に広い地域圏で、人口は600万人。2つの山脈と220 kmにおよぶ地中海の海岸線を持ち、その風景と気候は多様性に富んでいます。オクシタニーは世界的に知られる名所も数多く、カルカッソンヌ、ポン・デュ・ガール、サン・シル・ラポピー、アルビ、ルルド、ニームのような観光地のほか、トゥールーズ、モンペリエ、ペルピニャンといった活気ある都市、トゥールーズ・ロートレック、ピエール・スーラージュなどオクシタニー出身画家の大型美術館があります。



オクシタニー地域圏と京都府の協力協定調印
-2016年12月 © Datiche Nicolas - Region Occitanie



ヤマハ発動機ジュビロ（現静岡ブルーレヴズ）のラグビー選手たちと面会-2016年12 ©Datiche Nicolas - Region Occitanie



オクシタニー地域圏と愛知県の協力協定調印
- 2018年6月©Datiche Nicolas - Region Occitanie



見本市と商談会「エアロマート名古屋」を訪問
- 2019年9月名古屋 © Datiche Nicolas - Region Occitanie

2022年末に第1回「オクシタニー ジャパンウィーク」

第1回「オクシタニー ジャパンウィーク」は、2022年11月25日から12月2日までオクシタニー地域圏の13の県で開催されます。Yujo協会（日本語で「友情」の意味）の主催、在フランス日本大使館、オクシタニー／ピレネー・メディテラネ地域圏、デベッシュグループ財団（Fondation Groupe Dépêche）後援、そしてオクシタニーを管轄する在マルセイユ日本総領事館の協力による開催です。

オクシタニーの全域で展開するこのイベントの目指すところは、アートや食や映画を通じてすべての住民に日本文化の豊かさを知ってもらうことです。それと同時に「オクシタニー ジャパンウィーク」は日本の大学や自治体と友情の絆を結ぶ機会にもなるでしょう。期間中には日仏両国の企業がお近づきになれるよう、さまざまな講演や出会いの場も予定されています。

このイベントの創設に関わったすべての人々のために強力な政治的取組みがあって、オクシタニーの地で2022年の終わりに日本という国の多面的な魅力を知ることができるのです。

詳しくは➡ <https://semainejaponoccitanie.fr/>

II. 2023ラグビーワールドカップ2023で日本代表は オクシタニーをベースキャンプ地に選択

日本との連携の持続と強化を目的に、オクシタニー地域圏キャロル・デルガ議長は2016年以来多くの訪日ミッションを実施しており、とくに日本で開催された2019年9月、ラグビーワールドカップ期間中の訪日は大事なものでした。この時、デルガ議長とカメル・シブリ副議長は、2023フランス大会組織委員会との協定に署名し、大会期間中に日本代表チームの受入れ地となるべく立候補。また、日本の関係諸氏と面会してオクシタニーの魅力と地域の持つインフラ水準についての説明を行いました。今日、これらの活動はラグビーワールドカップ2023期間中に日本代表がトゥールーズをベースキャンプとして選択するという形で実を結びました。



日本代表チームのベースキャンプがトゥールーズに決定したことを記者発表会で発言するキャロル・デルガ（右）とカメル・シブリ（左） - 2022年5月20日、トゥールーズ ©Bensizerara Sofiane - Region Occitanie

ブレイブ・ブロッサムズは2023年9月2日から4週間半を トゥールーズで過ごす

日本代表は、大会のプール戦全期間、2023年9月2日からの4週間半を、トゥールーズに拠点を置いて活動します。この機に、ブレイブ・ブロッサムズは、主に地元プロクラブであるスタッド・トゥールーザンの施設を使用することになります。スタジアム・ド・トゥールーズで予定されている2試合のプール戦に向けて、理想的環境での準備となることでしょう。

III. スポーツの地オクシタニー

数字で見るオクシタニーにおけるラグビー

19世紀末のフランスに伝えられて以来、ラグビーはオクシタニーに根を張り、そのスポーツ特性である他者への尊敬や祝祭的な価値観が、オクシタニーの文化の中で深い共鳴を呼び起こしてきました。それを示す数字をいくつか挙げてみましょう。

- 1番 フランスで一番ラグビーが盛んな地域圏
- 68 500 登録選手数(フランス全体で319 604)
- 426地域圏全体のクラブ数(国全体で1933)
- オクシタニー地域リーグ: フランスで最大の地域リーグ
- 20 000 毎年、地域の約100のスクールでラグビーを始める子供の数
- 2021-2022シーズン: Top14 (フランス1部) に4チームが所属 (カストルCastres Olympique, トゥールーズStade Toulousain, ペルピニャンUSAP Perpignan。モンペリエMontpellier Hérault Rugby –優勝)
- 5チームがPro D2 (2部) に所属 (ベジエAS Béziers, カルカッソンヌUS Carcassonne, モントーバンUS Montauban, コロミエColomiers Rugby、ナルボンヌNarbonne RC)
- 3チームが女子エリート・アン(1部) に所属 (トゥールーズStade Toulousain, ブラニャックBlagnac, モンペリエMontpellier Hérault Rugby)
- 3チームがナショナル(3部)に所属: ブラニャックBlagnac, タルブTarbes、アルビAlbi
- 6度の優勝を過去10年に達成
- プロリーグディビジョン登録クラブ数フランス最多地域
- 前回RWC日本大会フランス代表は37人中11人がオクシタニー地域クラブ所属の選手(最多)
- アントワーヌ・デュポンAntoine Dupont、オクシタニーで生まれ育ち、オクシタニーのクラブでプレー中。2021年ワールドラグビー年間最優秀選手賞



ラグビー1部リーグ「トップ14」の試合 スタッド・トゥールーザン対カルトル・オリンピック- 2021年10月、エルネスト・ワロン・スタジアム©Grimault Emmanuel - Région Occitanie

オクシタニー地域圏では2018年から大きな動きが始まりました。今後数年の間にフランスで開催される重要な国際スポーツ大会（とりわけ2024年のパリオリンピック・パラリンピック）に向け、地域圏内のスポーツ関連諸活動の連合と支援を目指すものです。「オリンピック・パラリンピック2024の地（Terre de Jeux 2024）」としての認証を受けたオクシタニー地方は、「パリ2024」で認証された地域内57カ所の「オリンピック・パラリンピックトレーニングセンター（Centre de Préparation aux Jeux）」に寄り添って、複合スポーツ施設の整備に大規模な投資を行っており、世界の第一線で活躍するアスリートらが国際スポーツイベントの前に、最良の環境で調整を行えるような環境を整えています。

その一例がパフォーマンス向上のためのトレーニング地として世界的に知られる、ピレネー山地のフォン・ロムー国立高地トレーニングセンター（Centre National d'Entrainement en Altitude de Font-Romeu）です。ここにはフランス国内外から毎年多くの選手団が訪れており、日本の各スポーツ連盟とも連携があります。地域圏ではさらに設備の充実を図り、2024年までにフォン・ロムーの敷地内に高度パフォーマンス準備センター（Centre de Préparation à la Haute Performance = CPHP）を建設します。そこには50メートル、10コースの屋外温水プールも含まれますが、完成すればフォン・ロムーはこのような設備をこの標高に備えた世界で唯一の施設となるでしょう。

詳しくは➡ <https://cnea-fontromeu.fr>



フォン・ロムー国立高地トレーニングセンター ©Bouttonnet Laurent - Région Occitanie

重要なスポーツイベントの中心地

オクシタニーは、世界中のアスリートが準備調整を行うのに欠かせない後方基地であるにとどまらず、国際スポーツイベントの開催地としても絶好の地域です。

今年の3月には世界フィギュアスケート選手権がモンペリエで開催されました。2023年には皆が待ちわびているラグビーのワールドカップ、そして2025年には13人制ラグビーの世界大会も。

オクシタニーでは2023年トゥールーズでHSBCセブンズシリーズも開催されます。これは世界10カ国持ち回りのサーキット方式で毎年行われる7人制ラグビーの国際大会で、2024年パリ五輪出場権のかかった大会のひとつです。また2023年11月にはモンペリエのシュッド・ド・フランスアリーナ（Sud de France Arena）で柔道のヨーロッパ選手権大会が行われます。

その他、毎年開催の国際大会もオクシタニーを舞台に行われています。カイトサーフィンのモンディアル・デュ・ヴァン（Mondial du Vent）、テニスの南仏オープン（Open Sud de France）、自転車レースのツール・ド・フランス、またモンペリエで開かれたエクストリームスポーツの祭典FISE（Festival International des Sports Extrêmes）でBMXフリースタイルの今年の覇者は日本の中村輪夢でした。



世界フィギュアスケート選手権 - 2023年3月モンペリエ、シュッド・ド・フランスアリーナ© Laurent - Region Occitanie

IV. ラグビーワールドカップ2023の中心地を目指す オクシタニー

数字で見る2023年ラグビーワールドカップ

48試合
20チーム、660人の選手
3500～5000人のボランティア
26億人のテレビ観戦者
3000人の取材メディア
60万人が来訪見込み
17 000 人の雇用創出または維持
11億ユーロ： フランス全土における経済効果予測
6千300万ユーロ： オクシタニー圏内観光経済効果予測：
大会終了後はオクシタニーに500万ユーロ相当のレガシー

トゥールーズで5試合。 2カ国の代表がオクシタニーにベースキャンプ。

試合会場に選定されたフランス10都市の中で、スタジアム・ド・トゥールーズで5試合を開催するトゥールーズは、大会の中心的役割を担います。

日本- チリ (2023年9月10日)
ニュージーランド- ナミビア (2023年9月15日)
ジョージア- 最終予選勝者 (2023年9月23日)
日本- サモア (2023年9月28日)
フィジー- 最終予選勝者 (2023年10月8日)

大会期間中のベースキャンプ地として、2チームがオクシタニーを選んでいきます。
日本がトゥールーズ、サモアがモンペリエに拠点を置きます。

また、フランス代表の秋の活動において、フランス対日本のテストマッチが、2022年11月20日、トゥールーズで行われる予定です。

キックオフを1年後に控え、 地域全体でさまざまなアクションを予定

340人の研修生を採用する“キャンパス2023”を、オクシタニーで3年間実施：

2021年10月1日からラグビーワールドカップ2023の準備期間と大会期間中を通じ、18歳から30歳までの男女均等339人が、地域圏全土でスポーツ関連の職業での研修を受け、bac +1、bac +3、bac +5（※それぞれ日本の大学で学士課程1年、学士課程修了、修士課程修了に相当）の学位取得を目指すことになります。期間後、若い研修生たちが、イベントプロジェクトのチーフ、あるいはスポーツ活動のファシリテーターなどとして雇用されることを目標としています。キャンパス2023による採用人数において、オクシタニーはフランス最大の地域となっています。

- オクシタニー地域圏は**ホテル・レストラン業の10人の研修生の日本研修を支援**し、東京の国際的に知られたホテルや店で2022年10月中旬から3ヶ月間研修させる予定です。
- **ワールドカップ期間中の青年ボランティア受け入れ**：トゥールーズ都市圏と連携してオクシタニーの高等教育機関に登録、あるいは日本語で学業続行中の日本人学生で15人のグループを構成し、ワールドカップ観戦のサポーターの受け入れに参加するとともにオクシタニーの真のアンバサダーになってもらう。
- **スポーツアップサミット**（Sportup Summit）2022はラグビーに特化した特別回、2022年10月7～8日フォン・ロムー（Font-Romeu）で実施。スポーツ関連産業の初の全国コンクールであるスポーツアップサミットは、スポーツ関連技術者たちが年に一度集まり、コンクールやフランス全国に知られた著名人による講演会に参加するものです。今年の講演はラグビーワールドカップ2023を視野に入れて、ラグビーと地域への経済効果にテーマをします。
- **地域圏のプロモーションと魅力増進**：オクシタニー地域圏とその観光局（CRTL）は、世界中のサポーターを惹きつけ、トゥールーズで行われる試合を観戦し、更にはサポーターたちがオクシタニーを自分達の「ベースキャンプ」として選び、地域圏の魅力に触れたいと思って頂けるよう、動き出しています。

« Do you Speak Rugby ? »

オクシタニー地方観光局（CRTL）はラグビーワールドカップに出場する国々のサポーターを対象に9月8日から10月28日まで大規模な懸賞キャンペーンを行います。賞品はオクシタニー地方10泊12日の旅2名様を5組。航空券とホテル、スタッド・トゥールーズの各種施設のガイド付き見学を含みます。

詳しくは ➡ <https://www.tourisme-occitanie.com>

- 地域の生産者と「シュッド・ド・フランス（南フランス）」ブランドのプロモーションを、オクシタニー地域圏で行われるワールドカップ2023大会のあらゆる関連イベントに連携させる。
- **スポーツの実践と社会的統合の促進:** オクシタニーは地域圏内において、オクシタニー・ラグビー・リーグならびに傘下各クラブ、フランス学校スポーツ連合と加盟各団体の協力により、学校を卒業した若年層、クラブ、社会スポーツ団体、中高生を対象に、とくに都市政策優先地区において、社会的統合を促進する活動を調整しています:指導者によるラグビー体験教室、参加資格の優先的割り当てなど。
- **学生のためのラグビー:** 全国学校スポーツ連合 (l'Union nationale du sport scolaire) との提携により、フランス高校選手権大会の2種目の決勝がオクシタニー地方のロット県 (Lot) とオート・ガロンヌ県 (Haute Garonne) で2023年4月に行われます。
- **「ラグビートレイン」** がオクシタニーを通る: オクシタニー地域圏はラグビーワールドカップ2023組織委員会が企画したラグビートレインのパートナーです。これは、列車の車両をラグビーワールドカップの世界に浸れた展覧会場にし、フランス各地を走らせるもの。選手の写真やワールドカップの優勝トロフィー「ウェブ・エリスカップ」の展示とともにラグビー関連の多様なアクティビティも紹介されています。これらの展示を見れば誰でもラグビーとふれ合うことができ、試合会場となるさまざまな土地も紹介されて、ラグビーワールドカップ2023という一大祭典のいわば予告編となることでしょう。オクシタニー地方内のラグビー列車停車駅は以下です。

• タルブ Tarbes	8月24日
• トゥールーズ Toulouse	8月26、27日、10月31日と11月1日
• ナルボンヌ Narbonne	8月28日
• モントーバン Montauban	8月30、31日
• カルカッソンヌ Carcassonne	9月1日
• ペルピニャン Perpignan	9月3、4日
• ベジエ Béziers	9月5日
• モンペリエ Montpellier	9月6、7日
• ニーム Nîmes	9月17、18日



広報担当

フランス観光開発機構日本事務所:
AtoutFrance au Japon
増田真由美 Mayumi MASUDA:
mayumi.masuda@atout-france.fr
Tel : 81 (0)3-5798-6297
jp.france.fr | jp.media.france.fr

オクシタニー/ピレネー・メディテラネ地域圏
Région Occitanie /Pyrénées-Méditerranée :
マティルド・マッソン Mathilde MASSON:
mathilde.masson@laregion.fr
Tel: +33 (0)4 67 22 86 46/+33 (0)6 07 75 52 82
www.laregion.fr